



GRENE_ei_EcoBiodiv_MAPHATJP_ データセット

1. 識別情報

名称	GRENE_ei_EcoBiodiv_MAPHATJP_データセット
版	0.9
略称	MAPHATJP
メタデータID	GRENE_ei_EcoBiodiv_MAPHATJP20240612163941-ja

2. 問合せ先

2.1 データセットに関する問合せ先

名前	倉島 治
組織名	東京大学
住所	日本, 153-8902, 東京都, 目黒区, 駒場 3-8-1
電話番号	+81-3-5454-4305
ファクシミリ番号	+81-3-5454-4305
電子メールアドレス	osamu@darwin.c.u-tokyo.ac.jp

2.2 プロジェクトに関する問合せ先

3. ドキュメント作成者

名前	倉島 治
組織名	東京大学
電子メールアドレス	osamu@darwin.c.u-tokyo.ac.jp

4. データ作成者

名前	齋藤昌幸
組織名	東京農工大学
電子メールアドレス	saito.ume@gmail.com

5. ドキュメント作成年月日

2024-06-12

6. データ作成年月日

creation : 2016-03-18

revision : 2016-04-01

7. データセット概要

7.1 序論

本データセットは、1188種の植物生育適地推定データです。日本標準メッシュの第3次メッシュ解像度で整備されています。環境省植生調査（2000-2012年）より抽出した出現種データを応答変数として生育適地を推定しています。説明変数となる環境要因は、年平均気温、夏季降水量、冬季降水量、地形的土壌湿性度指数（TWI）、地形区分（低地・丘陵・山地の3カテゴリー）、火山性物質（表層地質）の有無、石灰岩（表層地質）の有無、超塩基性岩（表層地質）の有無、周辺二次植生割合、周辺植林割合、周辺農地割合、周辺都市割合となります。これら変数は全て第3次メッシュ解像度データになります。土地利用割合（周辺二次植生割合、周辺植林割合、周辺農地割合、周辺都市割合）は、該当する3次メッシュの周囲8メッシュも含めて合計9メッシュ分から算出しています。植物種ごとの分布モデル構築には、MaxEnt (<http://www.cs.princeton.edu/~schapire/maxent/>) を利用しています。

7.2 トピックカテゴリ (ISO19139)

environment

biota

7.3 時間情報

開始日	2000-01-01
終了日	2012-12-31

7.4 地理的範囲

北限緯度	45.508
西限経度	122.875
東限経度	145.762
南限緯度	24.000

7.5 グリッド

次元の名称	次元の分割数	次元の解像度
row	1	30 (second)
column	1	45 (second)

7.6 地理情報を識別する名称

7.7 キーワード

7.7.1 データセットに関連するキーワード

キーワードタイプ	キーワード	シソーラス名
place	Asia > Eastern Asia > Japan	Country
theme	Ecosystems, Biodiversity	GEOSS
theme	Biodiversity	GEO_COP

7.7.2 プロジェクトに関連するキーワード

7.8 データセットに関するオンライン情報

データセットのダウンロードサイト : <http://gnetum.c.u-tokyo.ac.jp/maphatjp/>

7.9 データ周辺情報

7.10 データ配布情報

配布識別名	配布バージョン	配布に関する説明
CSV	RFC 4180	
GeoTIFF	TIFF 6.0	

8. 系譜情報

8.1 データ処理 (1)

8.1.1 データセット作成に関する加工過程や履歴の説明

本データセットに利用されている環境変数

01. 年平均気温 : WorldClim v1.4 (Hijmans et al., 2005) より作成。
02. 夏季降水量 : WorldClim v1.4 (Hijmans et al., 2005) より作成。
03. 冬季降水量 : WorldClim v1.4 (Hijmans et al., 2005) より作成。
04. 地形的土壌湿性度指数 (TWI) : 数値地図50mメッシュ (国土地理院, 2001) より作成。
05. 地形区分 : 若松ら (2005) を再分類して作成 (低地・丘陵・山地の 3 カテゴリー)。
06. 火山性物質 (表層地質) : 国土数値情報 (土地分類メッシュ昭和54年度) (国土交通省, 2002) より作成。
07. 石灰岩 (表層地質) : 国土数値情報 (土地分類メッシュ昭和54年度) (国土交通省, 2002) より作成。
08. 超塩基性岩 (表層地質) : 国土数値情報 (土地分類メッシュ昭和54年度) (国土交通省, 2002) より作成。
09. 周辺二次植生割合 : 小川ら (2013) および Akasaka et al. (2014) を利用して第 5回自然環境保全基礎調査植生図 (環境庁, 1999) を再分類して作成。該当する 3次メッシュの周囲 8メッシュも含めて合計 9メッシュ分から算出。
10. 周辺植林割合 : 小川ら (2013) および Akasaka et al. (2014) を利用して第 5回自然環境保全基礎調査植生図 (環境庁, 1999) を再分類して作成。該当する 3次メッシュの周囲 8メッシュも含めて合計 9メッシュ分から算出。

11. 周辺農地割合：小川ら（2013）および Akasaka et al.（2014）を利用して第 5 回自然環境保全基礎調査植生図（環境庁，1999）を再分類して作成。該当する 3 次メッシュの周囲 8 メッシュも含めて合計 9 メッシュ分から算出。

12. 周辺都市割合：小川ら（2013）および Akasaka et al.（2014）を利用して第 5 回自然環境保全基礎調査植生図（環境庁，1999）を再分類して作成（面積率）。該当する 3 次メッシュの周囲 8 メッシュも含めて合計 9 メッシュ分から算出。

本データセットに利用されている応答変数

出現植物（分布）：環境省第 6-7 回植生調査（2000-2012 年調査分）より作成。対象は 50 地点以上から出現している 1188 種。なお、種名（和名および学名）は Ylist（米倉・梶田，2003）をもとに整理。

8.1.2 元データの情報

データ起源の引用名	加工するデータ起源の説明
-----------	--------------

9. 品質等

10. 利用規約

10.1 データ提供者によるデータ利用規約

本データセットは、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス（Creative Commons）CC BY-SA 4.0 でご利用になれます。

10.2 プロジェクトによるデータ利用規約

11. ライセンス

12. 謝辞の記載方法

12.1 データ提供者の指定による謝辞の記載方法

ご利用の際は、以下のように引用あるいは成果物に明記してください。

Saito M.U., Kurashima O., Ito M., 2016. Maps of potential habitats for Japanese plant species. Available at <http://gnetum.c.u-tokyo.ac.jp/maphatjp/>.

12.2 プロジェクトの指定による謝辞の記載方法

13. 参考文献